

令和7年度

学校教育活動報告



<内容>

- 1 中期学校経営方針報告
- 2 学校評価アンケートを受けて
- 3 令和8年度に向けて



六つ川小学校キャラクター 「六つりん」と「六つ井」

横浜市立六つ川小学校
令和8年3月6日

学校 教育 目標	自らかがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子
	・基礎・基本を身に付けると共に、主体的に考え学ぶ力を育てます。(知)
	・人との関わりを大切にしながら、自己有用感を高め、思いやりの心を育てます。(徳)
	・運動習慣と規則正しい生活習慣を見につけ、心身共にたくましくいきる力を育てます。(体)
・地域とのかかわりを大切にしながら、集団の一員として全体を考える力と協働する力を育てます。(公)	
・様々なことにチャレンジし、最後までやり遂げようとする態度を育てます。(開)	

学校 概要	創立 59 周年	学校長 鐘江 ミサ	副校長 安齋 登美子	2 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 6
	児童生徒数: 348 人	主な関係校: 六つ川台小学校・六つ川西小学校・六つ川中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	六つ川中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自分をつくる力」 「友達や社会とつながる力」 「やり遂げる力」	六つ川中学校 六つ川小学校 六つ川台小学校 六つ川西小学校	「自立のための基礎力」の育成 9年間で「自立する力」「協働する力」を身に付けた子どもの育成をめざし、具体的な姿を設定し各校で取り組む。部会としての取組は以下とする。 学習指導部会→授業研究会を開催し、9年間の学びへの理解を深める。 領域指導部→9年間で一貫した社会情動的コンピテンシーの育成を進める。地域との交流授業等と授業の中のICT活用の情報共有を進める。 児童指導部会→ブロック内小中交流を進め、児童生徒の考えをいかした「あせかけ運動」を推進する。

中期 取組 目標	子どもたちが安心して、主体的に学び、自分の成長を実感できる学校にします。
	・子どもたちが お互いのよさに気づき 仲間と認め合い、高め合おうとする前向きな学校風土を作ります。 ・ 子どもたち一人ひとりの実態や思いを大切に した授業創りに取り組み、子どもたちが主体的に学習に取り組めるようにします。 ・ 子どもたちの思いや願いを尊重 した学年・学級目標を設定し、自分や集団の成長を確かめることができるようにします。 ・多くの学習活動や行事を通して、 子どもたち自身が地域の中の一員としての自分を意識し感謝の気持ちをもてる ようにします。

重点取組分野	具体的取組
知 学力向上	①学習ルールを確立し落ち着いた学習環境を保障し、ICT端末を効果的に活用した基礎基本の定着を図る。 ② 学力学習状況調査のデータを活用 し、どの教科においても資質・能力を身に付けられる授業創りに取り組む。 ③個別最適な学びと協働的な学びについての理解を深め、主体的対話的深い学びの実現に努める。
担当 学習指導	
徳 豊かな心	①道徳教育の充実を図り、規範意識を高めると共に、 自分の思いを安心して表現できる 学級作りを行う。 ②異学年交流を通じて、お互いを認め合い、 自分も相手も大事にしようとする 心情を育む。 ③ YPアセスメントを活用 し、学級活動(話し合い・係・集会等)の充実を図り、温かな人間関係作りにつなげる。
担当 人権・道徳・特活	
体 健やかな体	① 体力テストの結果を活用 し、取り組むべき重点的な運動や遊びを教師間で共有すると共に、 児童一人ひとりが「できた、わかった」という喜びを味わい 、主体的に運動したり、 体を動かすことの楽しさや気持ちよさを 実感できるようにする。 ②健康な体についての正しい知識を身に付け、子どもたち自身が、安全で気持ちの良い生活ができるようにする。 ③給食指導や栽培活動等、食育を様々な場面で推進し、食生活の大切さについて気づかせる。
担当 体育・食育・保健	
公開 自分づくり教育	①学校教育目標に沿って、 児童が自分の頑張りを自覚 し自身の可能性を見出すことができるような学習活動を計画実践する。 ②自分たちが創り上げた行事等で自分作りパスポートを活用し、自分の成長を振り返り、仲間や保護者と共有できるようにする。 ③生活科や総合的な学習の時間を活用し、 児童の思いや願い、気づきを大切に して地域の方々とかかわることで、地域の中の自分を自覚し、感謝の気持ちをもったり、自分の生き方について考えたりする機会を作る。
担当 特活部・総合	
いじめへの対応	①温かな学級風土作りを進めつつ、いじめを積極的に認知し、 スタナビの活用等 で全職員で情報を共有し未然防止に努める。 ②風通しのよい学校創りに取り組み、SC,SSWとの積極的な連携で、組織的に事案対応を行う。 ③教職員自身が人権感覚を磨き、「あなたは、あなたでよい」のまなざしをそえ、 子どもたち一人ひとりの実態や気持ちに寄り添った 対応を進める。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①研修や情報交換を密に行い、教職員が特別支援教育のスキルと感度を高め、 すべての子が居心地のよい学校 を目指す。 ② 一人ひとりの児童の困り感に寄り添い 、特別支援コーディネーターを中心とした支援体制を全職員で共有し職員の専門性を ③特別支援教室(自然教室・取り出し指導)の持続可能な運営を行う。 ④センター機能等を活用したコンサルテーションの定期的な実施と
担当 特別支援部	
児童指導	①MBCあせかけ運動における「あいさつ」運動を 児童の思いや考えを いかして継続し、中学校ブロックの連携を進める。 ②ブロックでの情報共有を密に行い、全児童を多くの職員で見守りながら、 YP等を活用し子どもたち一人ひとりの状況に応じた適切な 指導を行う。 ③ 子どもたち一人ひとりを生かした 学習や活動を積み重ねることで、 子どもたちが安心して過ごせる 学級風土創りに努める。
担当 児童指導部	
学校地域連携	①積極的に情報発信に努め、保護者地域の学校理解を進め、連携を深める。 ②地域の良さを考える単元や活動をカリキュラムに位置づけ 地域の一員である ことに気付けるようにする。 ③6年間を見通した計画的な連携により地域への愛着や感謝の気持ちを育てる。
担当 教務部	
安全管理	①日常生活の中での安全意識を高める。(交通安全教室・防災訓練・歩行の仕方・体調管理・環境整備等) ② 情報モラルを守り、ICT機器を効果的に活用 できるようにする。 ③教科等と関連させた防災教育の充実(社会科・総合的な学習の時間等)を図る。
担当 保健安全部・情報部	
人材育成・組織運営(働き方)	①新たな組織の円滑な運営に努めると共に、組織の中での人材育成を図る。 ②職員の健康管理のために、見直しをもった業務への取組で、時間外労働時間の削減に努める。 ③経験や個性を生かす研修に参加し、自分ごととして学校全体で共有する。
担当 教務部	

重点取組分野	令和 7 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
学力向上	①学習ルールを確立し落ち着いた学習環境を保障し、ICT端末を効果的に活用した基礎基本の定着を図る。 ②学力学習状況調査のデータを活用し、どの教科においても資質・能力を身に付けられる授業創りに取り組む。 ③個別最適な学びと協働的な学びについての理解を深め、主体的対話的深い学びの実現に努める。	①学校全体で話し方聞き方の指導を継続して行い、学習ルールの確立に取り組んだ。また、ICTの活用を通して、個に応じた落ち着いた学習環境づくりにつなげている。②学力学習状況調査の結果を踏まえ、学年の実績に応じ、学び場の定着と、努力の定着を、子どもが身に付ける知識や資質能力の適切な育成とともに、基礎基本の定着にも一定の効果があった。③グループ学習やペアでの活動を積極的に取り入れ、協働的な学びの場を設けてきた。今後は、児童主体の学びの場を低学年から意識的に設け、学び合いから考えを広げたり深めたりものを表現する力を伸ばす支援をしていきたい。	B
豊かな心	①道徳教育の充実を図り、規範意識を高めると共に、自分の思いを安心して表現できる学級作りを行う。 ②異学年交流や地域の方とのかわりを通して、自分も相手も大事にしようとする心育を育む。 ③YPAセサメントを活用し、学級活動(話し合い・集会等)の充実を図り、温かな人間関係作りにつなげる。	①道徳の時間は、子どもが自分の思いを安心して表現できるように各クラスの担任が工夫をして取り組んだ。 ②異学年交流については、たてわり活動の時間だけでなく、行事や授業など各学年・学級で柔軟にかかわりをもつようにした。子どもたちも仲を深めている様子が多かった。 ③YPAプログラムについては、社会的スキルプログラムの実施を授業参観時に設定することで、保護者にも取組を見てもらおうようにした。こうした取組の発信は今後も、継続して行っていく。	B
健やかな体	①体力テストの結果を活用し、取り組むべき重点的な運動や遊びを教師間で共有すると共に、児童一人ひとりが「できた、わかった」という喜びを味わい、主体的に運動したり、体を動かすことの楽しさや気持ちよさを実感できるようにする。 ②健康な体についての正しい知識を身に付け、子どもたち自身が、安全で気持ちの良い生活ができるようにする。 ③給食指導や栽培活動等、食育を様々な場面で推進し、食生活の大切さについて気づかせる。	①体育科を中心に、教科担任制での指導やブロック内で指導内容を重点化の共有を図り、児童の主体的な学びの姿勢の追及に努めた。②高学年を中心とした保健学習や全校で取り組む学校保健委員会のテーマを通して、学年・学級の実態に応じた子ども自身が自分の健康を意識する場を設けた。③地域の方の協力のもと栽培活動に取り組んだ学年や学級の発信から、給食の残食に目を向けるなど、自分の食生活に目を向ける児童の姿が見られた。	B
自分づくり教育	①学校教育目標に沿って、児童が自分の頑張りを自覚し自身の可能性を見出すことができるような学習活動を計画実践する。 ②自分たちが創り上げた行事等で自分作りサポートを活用し、自分の成長を振り返り、仲間や保護者と共有できるようにする。 ③生活科や総合的な学習の時間を利用して、児童の思いや願い、気持ちを大切に地域の方々とかかわることで、地域の中の自分を自覚し、感謝の気持ちをもったり、自分の生き方について考えたりする機会を作る。	①学年・学級目標や行事目標に学校目標を取り入れることにより日常的に意識できるようにした。自分や友達よきを積極的に認め合う姿が見られた。今後も、自己有用感や自分の可能性を見出せるよう努めていく。 ②各行事や節目ごとに自分づくりサポートの記入を通して、自分の成長や課題について振り返り、個人記録を利用して保護者とも共有し、自己肯定の向上や課題の改善に繋げられるよう努力した。 ③児童の思いを大切にしながら、生活科や総合的な学習の時間に地域と関わり地域行事に積極的に参加したりして、地域の人への感謝や地域の中の自分を意識する姿が見られた。	B
いじめへの対応	①温かな学級風土作りを進めつつ、いじめを積極的に認知し、スタナビの活用等で全職員で情報を共有し未然防止に努める。 ②風通しのよい学校創りに取り組み、SC.SSWとの積極的な連携で、組織的に事業対応を行う。 ③教職員自身が人権感覚を磨き、「あなたは、あなたでよい」のまなざしをそえ、子どもたち一人ひとりの実態や気持ちに寄り添った対応を進める。	①温かな学級風土づくりを進めるために、YPAプログラムを計画的、定期的実践した。いじめ事業を積極的に認知し、スタナビも活用しながら全職員で情報を共有し、未然防止に努めた。 ②風通しのよい学校創るため、SC.SSWをはじめ、療育センターや通級指導教室、教育支援センターと積極的に連携し、組織的に事業に対応できるようにした。 ③全職員で、児童一人ひとりを大切に話があつてもだれとでもできるように教職員集団の人権感覚を磨くことに努めた。	B
特別支援教育	①研修や情報交換を密に行い、教職員が特別支援教育のスキルと態度を高め、すべての子が居心地のよい学校を目指す。 ②一人ひとりの児童の困り感に寄り添い、特別支援コーディネーターを中心とした支援体制を全職員で共有し職員の専門性を③特別支援教室(自然教室・取り出し指導)の持続可能な運営を行う。 ④センター機能等を活用したコンサルテーションの定期的な実施と情報共有で、児童理解を深める。	①すべての子どもにとって居心地のよい学校を目指し、研修や情報交換を行い、全教職員が特別支援教育への態度や専門性を高める必要性を認識することができた。来年度は、スキル向上につながる具体的な研修を計画する。 ②週一度の情報共有やいじめ防止対策委員会を通して、児童一人ひとりの困り感を職員間で共通認識することができた。また、担任が一人で抱え込まず、専任と相談の上、支援を決定する体制が整った。 ③特別支援教室(自然教室・取り出し指導)の運営体制が整備された。今後も、持続可能な運営を意識しながら継続していく。 ④センター機能等を活用したコンサルテーションを定期的に実施し、情報共有を行うことで、教職員だけでは及ばなかった専門的な見解が得られ、児童の状況を多面的に捉えることができた。	B
児童指導	①MBCあせかけ運動における「あいさつ」運動を児童の思いや考えをいかして継続し、中学校ブロックの連携を進める。 ②ブロックでの情報共有を密に行い、全児童を多くの職員で見守りながら、YP等を活用し子どもたち一人ひとりの状況に応じた適切な指導を行う。 ③子どもたち一人ひとりを生かした学習や活動を積み重ねることで、子どもたちが安心して過ごせる学級風土創りに努める。	①児童による計画委員会を中心にあいさつ運動の内容を考えるなど、活動を推進した。子ども会でも、担当児童が積極的に発言することでブロックでの連携を進めた。②全校でYPを活用した授業実践や、L-Gateの健康観察を利用し子どもの思いの把握と、子ども一人ひとりに寄り添うよう努めた。専任を中心に情報交換を密に行ったことを、学校全体に積極的に広めていくようにしたい。③授業や休み時間等学校生活全般で、子どもが安心して過ごせるよう取り組んだ。どの職員も学級づくりに力をいれ、よい風土をつくるように努めた。	B
学校地域連携	①積極的に情報発信に努め、保護者地域の学校理解を進め、連携を深める。 ②地域の良さを考える単元や活動をカリキュラムに位置づけ地域の一端であることに気付けるようにする。 ③6年間を見通した計画的な連携により地域への愛着や感謝の気持ちを育てる。	①日々の学校での取組をタイムラインで、また学年だより・学校だよりを活用し、保護者が学校理解を深める情報発信に努めた。 ②地域の材を活用した学級独自の学習が展開されるようになり、学年や学級によって取組の差が生み出されている。来年度は60周年に向け、地域を意識した単元づくりをすすめていくことを職員間で共通理解を図るよう努める。 ③子どもの地域への愛着や感謝の気持ちは育っている。カリキュラムマネジメントを進め、それらにより深まるような活動を計画していく。	B
安全管理	①日常生活の中での安全意識を高める。(交通安全教室・防災訓練・歩行の仕方・体調管理・環境整備等) ②情報モラルを守り、ICT機器を効果的に活用できるようにする。 ③教科等と関連させた防災教育の充実(社会科・総合的な学習の時間等)を図る。	①安全意識を高める行事等に合わせて各教室で丁寧な指導を心がけ、また、日々の生活の中で、子どもが安全を意識できるような話を取り入れた。②ロイノートやL-gate等のICT機器を効果的に活用できるようにした。情報モラルについては出前授業を行うとともに、日々の生活の中で指導を行った。③各学年で社会科や理科等の学習過程の中に防災教育に関連するカリキュラムを組み、実践した。	B
人材育成・組織運営(働き方)	①新たな組織の円滑な運営に努めると共に、組織の中での人材育成を図る。 ②職員の健康管理のために、見直しをもった業務への取組で、時間外労働時間の削減に努める。 ③経験や個性を生かす研修に参加し、自分ごととして学校全体で共有する。	①実務部会、学年部会などそれぞれの部署が組織の中で役割分担をしながら、円滑な運営に努め、各部の中で、人材育成が図られていた。 ②見直しをもった業務への取組により、学校運営は円滑である一方で、業務量が減らならないため、労働時間の削減には至っていない。 ③管理職との面接を通して研修奨励を行なった。今後も継続し自分に合った研修を知ること、研修参加への意欲を高めることができるようにする。また、各部会が研修を積極的に告知し参加意欲を高めていく。	B
ブロック内評価後の気付き	・MBC(六つ川中ブロック)では、今「自立する力」協働する力」学校教育目標に併せて目指す子どもの姿を具体的に設定し、行事等にも意識的に組み込み、教職員がより意識できるようにした。学校教育目標は、児童、教職員、保護者、地域にも浸透しており、来年度も具体的な姿での発信により一層の浸透を目指したい。 ・MBCの取組としては、中学校のハートフルと小学校各校の特別支援教室の情報共有し、児童の実態、その実態に応じた対応について、多くの学びとなった。授業研究も各教科、学年ごとのグルーピングで研究討議を行い、小中の子どもへの理解は深まっている。 ・各校連携して取り組んだ「あいさつ運動」は、各校共に効果を上げており、今後も中学校との効果的な交流の上で、運動の広がりを進めていく。		
学校関係者評価	・学校評価アンケートでは、学校の経営方針や教育活動に一定のご理解をいただくことができたが、不十分と指摘を受けたところについては、今後の課題として取り組んでいく。 ・くすのき会では、子どもたちの学びの様子を見たり、六つ川を材にした4年生と交流していただき、主体的な学び、町を大切にすることにふれ、お褒めの言葉を多くいただいた。また、町を材にすることそのものに感激されていた。 ・来年の60周年に向け、学校と地域との連携をお願いし、承認を得ることができた。		
中期取組目標振り返り	新たな中期学校経営方針を設定し、教職員の意識や感覚の共有を軸に丁寧に取り組んできた。学校教育目標が児童保護者地域へ浸透し、児童自らが主体的に活動する姿が見られている。教員は各自が学習活動の充実と授業改善をめざし、日々地道に取り組んだ。主体的に取り組めたり、六つ川の材を活用した単元が増えたりと、成果が出ている。特別支援教室を整備したことで、一人一人を大切に支援が児童の安定につながっている。いじめ防止については、全職員で全児童を見守る意識をもって基本方針を改訂した。60周年に向けて児童の活動が始まり、来年度も今年度の取組をいかしつつ、児童主体の学校創りをすすめていく。		

重点取組分野	令和 8 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
学力向上	b1	つながる学習計画や学習課題を児童と共有していく授業創りを進めていくことが課題。	
豊かな心	b2		
健やかな体	b3		
自分づくり教育	b4		
いじめへの対応	b5		
特別支援教育	b6		
児童指導	b7		
学校地域連携	b8		
安全管理	b9		
人材育成・組織運営(働き方)	b10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

重点取組分野	令和 9 年度		総括
	具体的取組	自己評価結果	
学力向上	c1		
豊かな心	c2		
健やかな体	c3		
自分づくり教育	c4		
いじめへの対応	c5		
特別支援教育	c6		
児童指導	c7		
学校地域連携	c8		
安全管理	c9		
人材育成・組織運営(働き方)	c10		
ブロック内評価後の気付き			
学校関係者評価			
中期取組目標振り返り			

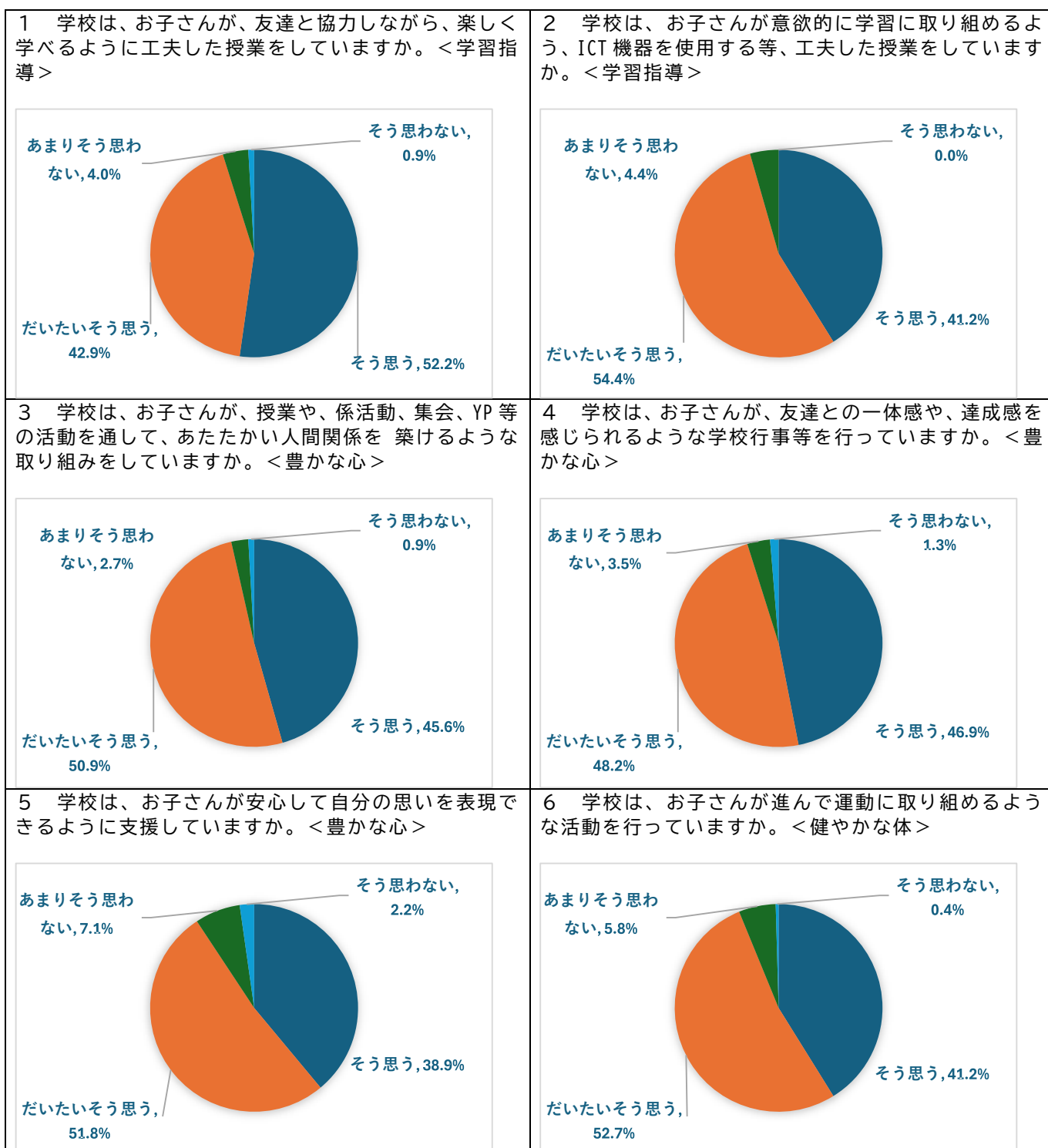
くすのき会委員 様

横浜市立六つ川小学校
校長 鐘江 ミサ

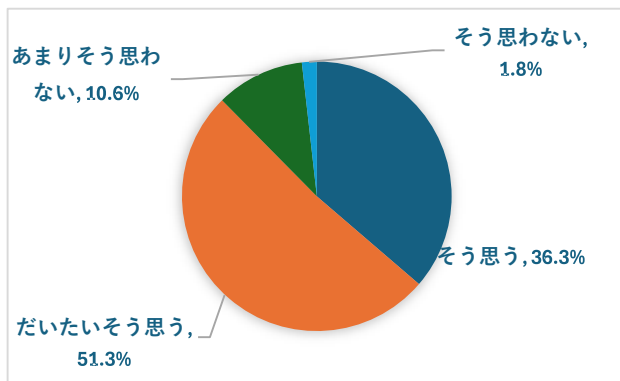
令和7年度 学校評価アンケートの結果について

梅の花の香りがただよう今日この頃です。皆様には本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、感謝しております。さて、12月に児童・保護者の方に、学校評価アンケートを実施しました。その結果と考察について報告いたします。

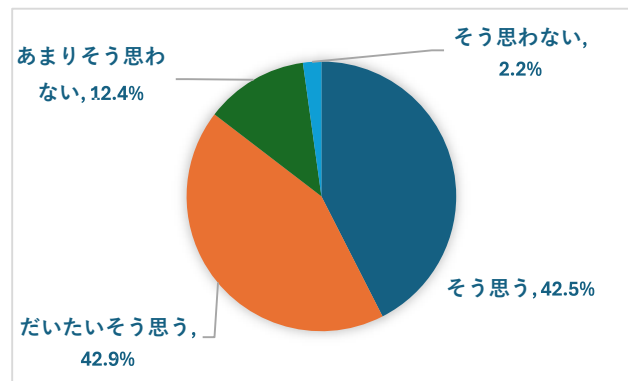
1 アンケート集計結果 (保護者アンケート回収率 53.8%)



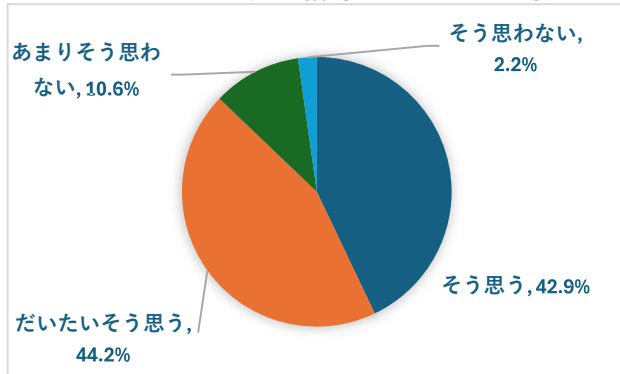
7 学校は、お子さんが、自分の目標に向け取り組み、振り返りができるようにしていますか。<自分づくり教育>



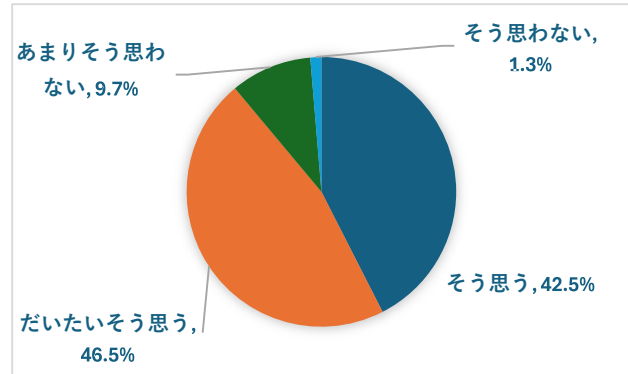
8 学校は、お子さんが地域とのかかわりを大切にしながら過ごし、地域の一員という自覚をもてるような取り組みをしていますか。<自分づくり教育>



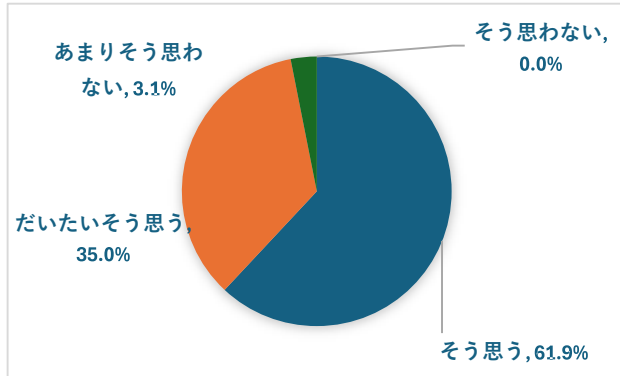
9 お子さんが安心して学校生活を送れるように、教職員が相談に乗り、組織的に対策を立て、対応していると思いますか。<児童指導、いじめへの対応>



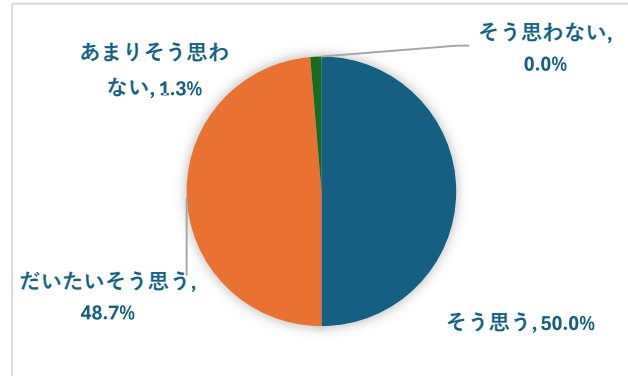
10 学校は、学習や生活面等、一人ひとりの困り感に寄り添い、支援していると思いますか。<特別支援>



11 学校は、学校だよりや学年だより、懇談会、ホームページなどを通して教育方針や子どもたちの活動を継続的に発信していると思いますか。<学校・家庭・地域連携>



12 学校は、防災訓練や日常生活の指導の中で、お子さんが怪我なく安全に気を付けて過ごせるような環境づくりに努めていると思いますか。<安全管理>



2 アンケートの考察

<グラフより>

どの項目でも、「そう思う」「だいたいそう思う」のよい回答の割合が高くなっています。日頃から本校の教育方針や教育活動へのご理解とご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。しかし、「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答も見られることから、中期学校経営方針の確認のもと、新年度への課題とし、学校運営の改善に生かしていけるよう努めていきたいと考えております。よい回答の割合が高いアンケート項目については、次のような取組が良かったと考えられます。

【項目1】学校は、お子さんが、友達と協力しながら、楽しく学べるように工夫した授業をしていますか。<学習指導>

【項目2】学校は、お子さんが意欲的に学習に取り組めるよう、ICT機器を使用する等、工夫した授業をしていますか。<学習指導>

【回 答】

今年度の学力向上の目標を<「やってみよう！おもしろそう！いっしょにやろう！」>と思える学習活動を展開し、一人ひとりの「わかった」「できた」が積み重なることで、自分の考えを表現する力につなげる。>として、お子さん一人ひとりが主体的に学べるよう、日々授業改善を図ってきました。特に、友達との学び合いの場を増やし、タブレットの適切な活用によって、より充実した学習をねらってきました。

【項目3】学校は、お子さんが、授業や、係活動、集会、YP等の活動を通して、あたたかい人間関係を築けるような取り組みをしていますか。<豊かな心>

【回 答】

「子どもの社会的スキル横浜プログラム」などを活用し、友達と気持ちがつながり合うことのできる機会を設け、つながるよさを味わい友達と認め合う学級集団づくりにつなげてきました。また、本年度は、たてわり活動を行うことで、他学年との関わりを通し、高学年が低学年を中心に相手を理解し、受け入れながら活動する姿を手本となるような指導や助言をしました。

【項目4】学校は、お子さんが、友達との一体感や、達成感を感じられるような学校行事等を行っていますか。<豊かな心>

【回 答】

運動会などの行事だけでなく、日々の学習の中で、学年・ブロック、ペア学年、異学年（たてわり）での交流を大切にしてきました。ペア学年の友達が行事に参加する際に手紙を書いたり、たてわり活動の中で、高学年が中心となって、低学年の児童が楽しめる活動を考えたりするなど、他学年とも積極的に交流し、異学年の友達とも一体感を得られるような活動ができたと思われま

す。「そう思う」「だいたいそう思う」の割合が他の項目と比べると低い回答のアンケート項目では、次のような取組を進め、改善に努めていきます。

【項目7】学校は、お子さんが、自分の目標に向け取り組み、振り返りができるようにしていますか。<自分づくり教育>

【回 答】

年度初めや期分けあと、宿泊体験学習や遠足、学校行事ごとに自分づくり・パスポートを活用し、なりたい自分に向けて目標を決め、取り組んでいます。また、取り組みの後の振り返りも行っています。それらの内容について、個人面談を通して保護者の方にお伝えしています。お子さんの成長した姿やさらに伸ばしたい力を、保護者の方と学校が共有することで子どもたちに一貫した声掛けや支援を行うことをしています。

【項目8】学校は、お子さんが地域とのかかわりを大切にしながら過ごし、地域の一員という自覚をもてるような取り組みをしていますか。<自分づくり教育>

【回 答】

生活科の学習や総合的な学習の時間での活動を中心に、地域の人や場所、出来事と出会い、つながりながら「なぜ?」「どうしたらいい?」など課題を見つけ、調べて考えて話し合い、自分たちにできることを形にしていくことを大切にしています。

【項目9】お子さんが安心して学校生活を送れるように、教職員が相談に乗り、組織的に対策を立て、対応していると思いますか。<児童指導、いじめへの対応>

【回 答】

六つ川小学校いじめ防止基本方針に示しているように、学校生活アンケートやYPアセスメントの年2回実施など、そこから見ることができ子どもたちの不安感やわだかまりの早期発見、早期解決にあたっています。人権週間や六つリuntimeや授業を通して、困ったときに子ども自らがSOSを出すことができるようにその伝え方を練習しています。ご家庭でお子さんの心配なことがありましたら、いつでもご連絡いただきたいと思います。

<自由記述より> 全ての回答にお答えはしていません。

- 宿題に関して、完全な自主学習をさせるのは難しいと思う。全ての親が積極的に宿題を手伝えるわけではない。自主的にできる子とできない子の差が開かないような指導をお願いしたい。

【回答】

ご家庭によって学習環境や関わり方が異なる中で、学習面へのご心配があることは、学校としても真摯に受け止めております。本校では、家庭で行う「宿題」に大きく頼らず、学校での学習時間を大切にしたい指導を行っております。

- 運動会だけが今のスタイルでいいのか疑問に思うことがある。組(赤白)対抗にして、皆で得点を競うのでも良いのではないか。現在のスタイルになった経緯が入学当初より不明なので知れると理解できる気もする。

【回答】

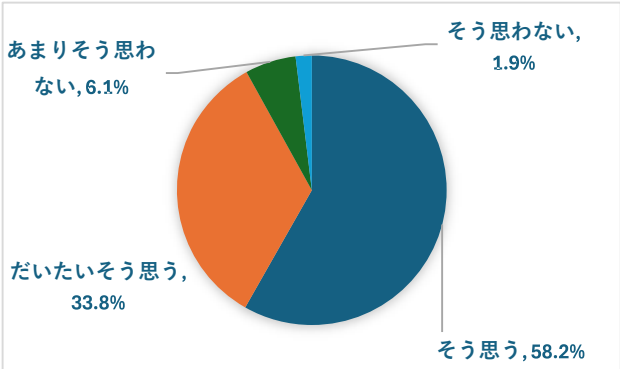
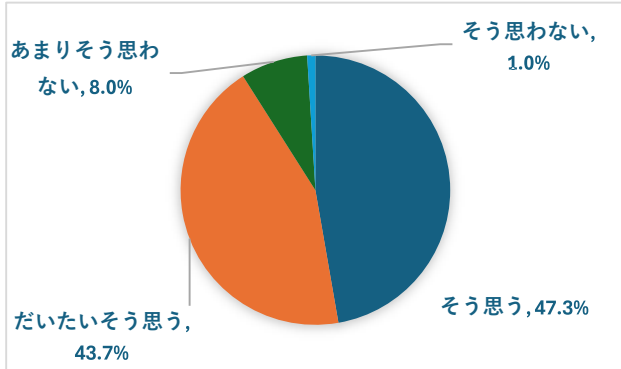
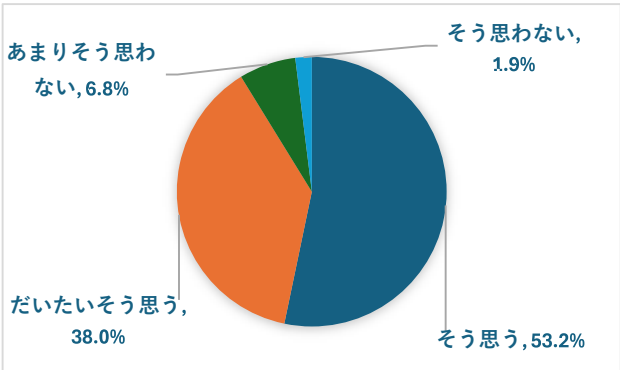
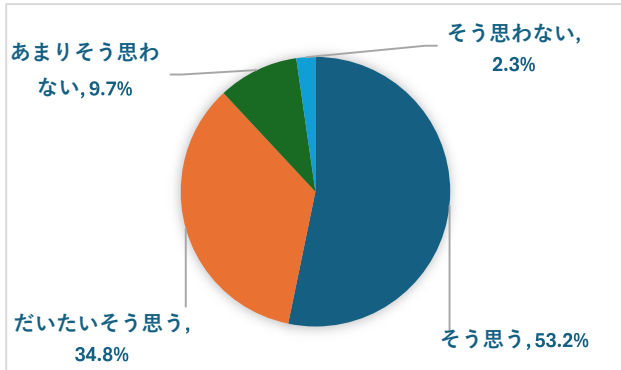
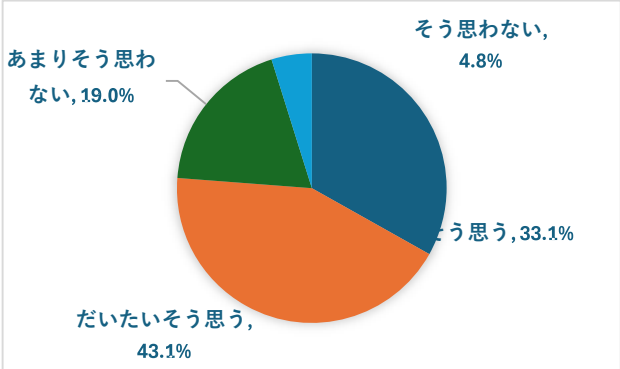
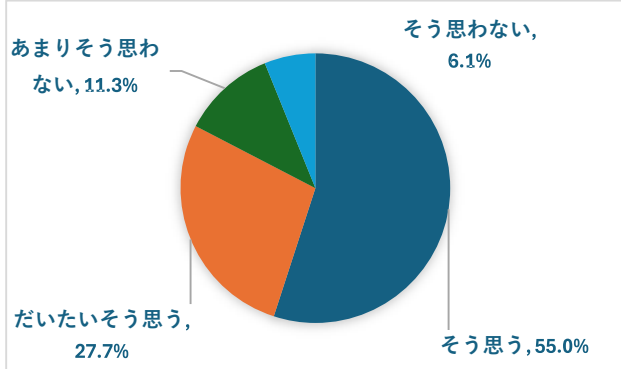
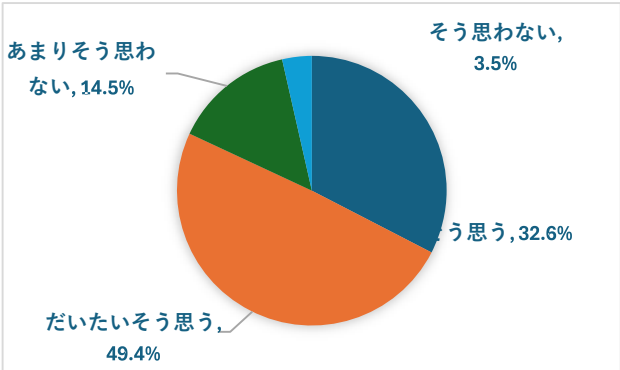
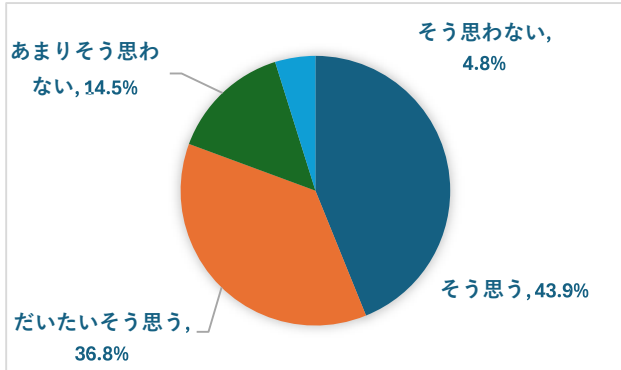
運動会の形式につきましては、学校教育目標が達成できるように取り組んでいます。『一人ひとりの子どもがみんなで「輝き」、達成感を味わうことのできる活動』になるように、勝ち負けにこだわるのではなく、児童が安心して力を発揮し、日常の体育学習の成果を発表し、健康や運動に対する意欲や関心を深めることを大切にしております。より良い運営へ向けにご提案も参考にいたします。

- トラブルがあった場合にその事や、その児童のことをもっと教師間や、ほかの家庭にも共有していただきたい。

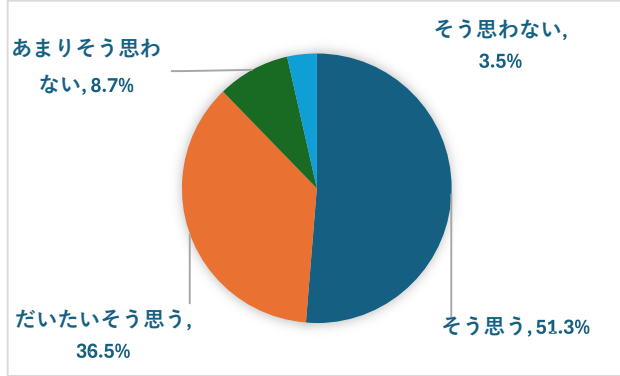
【回答】

トラブル対応については、個人情報を守りつつ、学校として組織的に連携し、安心できる環境づくりに努めています。ご心配なことがありましたら、いつでも学校にご連絡をいただけたらと思います。

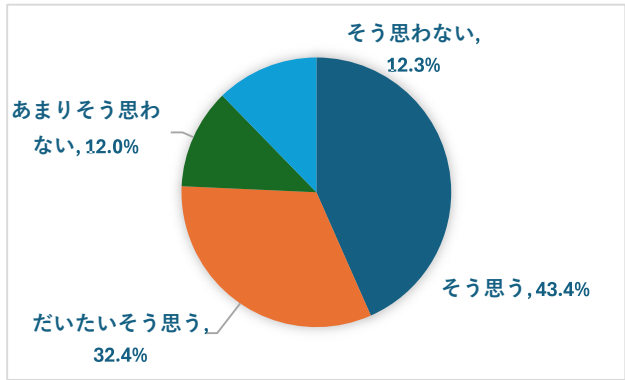
1 児童アンケート集計結果 (児童アンケート回収人数 311名)

<p>1 友達と協力して学習をしています。</p>  <p>あまりそう思わない, 6.1%</p> <p>そう思わない, 1.9%</p> <p>だいたいそう思う, 33.8%</p> <p>そう思う, 58.2%</p>	<p>2 学校の授業は、よく分かります。</p>  <p>あまりそう思わない, 8.0%</p> <p>そう思わない, 1.0%</p> <p>だいたいそう思う, 43.7%</p> <p>そう思う, 47.3%</p>
<p>3 かかり活動や当番活動、集会などで友達と助け合ったり、協力したりして、過ごしています。</p>  <p>あまりそう思わない, 6.8%</p> <p>そう思わない, 1.9%</p> <p>だいたいそう思う, 38.0%</p> <p>そう思う, 53.2%</p>	<p>4 学校行事等では、友達と一体感や、達成感を感じています。</p>  <p>あまりそう思わない, 9.7%</p> <p>そう思わない, 2.3%</p> <p>だいたいそう思う, 34.8%</p> <p>そう思う, 53.2%</p>
<p>5 自分の気持ちを素直に表現しています。</p>  <p>あまりそう思わない, 19.0%</p> <p>そう思わない, 4.8%</p> <p>だいたいそう思う, 43.1%</p> <p>そう思う, 33.1%</p>	<p>6 進んで運動に取り組んでいます。</p>  <p>あまりそう思わない, 11.3%</p> <p>そう思わない, 6.1%</p> <p>だいたいそう思う, 27.7%</p> <p>そう思う, 55.0%</p>
<p>7 めあてに向けて取り組み、振り返りをしています。</p>  <p>あまりそう思わない, 14.5%</p> <p>そう思わない, 3.5%</p> <p>だいたいそう思う, 49.4%</p> <p>そう思う, 32.6%</p>	<p>8 地域の行事に参加したり、地域の人とあいさつしたりしています。</p>  <p>あまりそう思わない, 14.5%</p> <p>そう思わない, 4.8%</p> <p>だいたいそう思う, 36.8%</p> <p>そう思う, 43.9%</p>

9 困ったことがあったときには、学校の先生たちは相談に乗ったり、話を聞いてくれたりします。



10 自分のことが好きです。



2 アンケートの考察

全体を通して、子どもたちが学校生活を前向きに受け止め、安心して過ごしている様子が感じられる結果となりました。

まず、1, 2のような友達との協力や授業の分かりやすさに関する項目では、多くの児童が肯定的に答えており、学級の間関係や安定していたり、それぞれのクラスの実態にあった授業づくりをされていたりする様子について評価をいただいています。友達と協力して学習したり、係活動や当番活動で助け合ったりする姿が日常的に見られ、学校全体として「協力し合う」ことを意識できていることが再確認できました。また、困ったときには先生に相談できると回答した児童も多く、学校が安心できる場所として機能していることが分かります。

一方で、課題として見えてきた点もあります。5, 10のような自分の気持ちを素直に表現することや、自分を肯定的にとらえることについては、他の項目に比べるとやや控えめな回答が見られました。これらは成長の過程でも揺れやすい部分であり、学校として丁寧に支えていきたい領域です。また、地域の行事への参加や地域の方との関わりについては、昨年度に比べて少し低い傾向が見られ、地域とのつながり方を改めて見直す必要があると感じられました。

昨年度のアンケート結果と比べると、協力や授業理解といった項目は引き続き高い評価が維持されていましたが、行事での一体感や地域との関わりといった、学校外の活動や広がりのある体験に関する項目では、やや下がっている傾向が見られました。行事後の振り返りの工夫や、地域の方とふれあう場づくりなど、活動の質を高める取組が必要であると考えます。

これらの結果を受けて、学校としては、これまで成果が見られている協働的な学びや授業改善を引き続き進めるとともに、自己表現や自己肯定感を育む取り組み、地域とのつながりを深める工夫に重点的に取り組んでまいります。話し合い活動の充実や、自分や友達のよいところを伝え合う場づくり、行事後の振り返りの充実、地域の方との交流機会の創出など、子どもたちの成長につながる取組を継続して進めてまいります。

児童アンケートの結果から、子どもたちが学校に安心感をもち、友達や先生とのつながりの中で前向きに学んでいる姿が改めて確認できました。今後も、学校・家庭・地域が協力し合い、子どもたちがよりよく成長できる環境づくりに努めてまいります。

4 令和8年度にむけて

(1) 主な行事予定 ※現時点での予定です。変更することもあります。

4	7日(火)	着任式・始業式
	8日(水)	入学式
	17日(金)	懇談会
	20日(月)~24日(金)	地域訪問&教育相談
	23日(木)	全国学力・学習状況調査6年
5	11日(月)12日(火)	横浜市学力・学習状況調査(予定)
	15日(金)	60周年航空写真全校写真、学年写真撮影
	21日(木)	体力テスト①
	22日(金)	体力テスト②
	30日(土)	土曜参観、引き取り訓練(振替休日 6/1(月))
6	2日(火)	開港記念日
	5日(金)	はまっこ交通安全教室 ※未定
	22日(月)	第1回くすのき会
	23日(火)	国際平和スピーチコンテスト
	26日(金)・27日(土)	愛川宿泊体験学習5年
	30日(火)~7月13日(月)	個人面談
7	5日(日)・6日(月)	日光修学旅行6年
	18日(土)~8月26日(水)	夏季休業
9	18日(金)	授業参観・懇談会
10	9日(金)	期分式
	14日(水)	体験学習4年予定 ※体験場所は検討中
	31日(土)	六つリンピック(振替休日 11/2(月))
11	6日(金)	総合防災訓練
	13日(金)	南区児童音楽会3年(午前)
12	8日(火)~17日(木)	個人面談
	25日(金)~1月6日(水)	冬季休業
1	16(土)	60周年行事(振替休日 12/25(金))
2	16日(火)	第2回くすのき会
	26日(金)	授業参観・懇談会6年
3	5日(金)	授業参観・懇談会123年
	8日(月)	授業参観・懇談会45年
	12日(金)	授業参観・懇談会4くみ
	19日(金)	6年生を送る会 卒業証書授与式
	25日(木)	修了式・離任式

(2)運営面での主な変更点等

創立60周年記念のお祝いをします。

令和8年11月1日は、六つ川小学校の60歳の誕生日です。今年度から、児童準備委員会を設置して取り組み内容を考えています。現在、スローガンの原案と、学校全体で取り組む内容を話し合っています。来年度は、各学年や学級で取り組む内容や全校でどのようにお祝いをしていくのか考え、六つ川小学校の60歳をお祝いします。



☆	月	火	水	木	金	土	日
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

時程が変わります。

放課後に教員が、授業準備や子どもの様子の振り返りなどをゆとりをもって行える時間を確保するとともに、子どもたちが放課後の時間を有意義に過ごせるように時程を改訂します。

大きな変更点は、

- ・全学年、火曜日が5校時になります。
- ・1年生は、水曜日が5校時になります。
- ・2年生は、金曜日が5校時になります。

※詳細は別紙をご覧ください。

4月実施の「地域・家庭訪問」が「地域訪問&教育相談」に変わります。

「地域訪問&教育相談」の期間には、教職員が地域訪問をして学区の様子や子どもたちの家の場所を確認させていただきます。また、同じ期間に、担任と面談を希望されるご家庭と教育相談(個人面談)を行います。

来校いただくことで、家庭訪問より保護者の方とお話をする時間を長く確保できるためです。

4年体験学習の場所を変更します。

5年生の体験学習とのつながりを考えて、4年生でも子どもたちが立てた活動計画を行えるような場所に変更します。具体的な場所については検討中です。

4年生は日帰りの予定ですが、実行委員会を中心に子ども一人一人が役割をもって活動を考えていくようにします。その経験を生かし、5年生では車中での活動やキャンプファイヤー、昼食づくりなど、子ども自らが活動を考え宿泊体験学習を創り上げていくことをねらいとしたいと考えています。



新時程

	月	火	水	木	金	委員会時程 火曜日	クラブ時程 木曜日
1	8:30~9:10	8:30~9:10	8:30~9:10	8:30~9:10	8:30~9:10	8:30~9:10	8:30~9:10
2	9:15~9:55	9:15~9:55	9:15~9:55	9:15~9:55	9:15~9:55	9:15~9:55	9:15~9:55
3	10:00~10:40	10:00~10:40	10:00~10:40	10:00~10:40	10:00~10:40	10:00~10:40	10:00~10:40
中	10:40~10:55	10:40~10:55	10:40~10:55	10:40~10:55	10:40~10:55	10:40~10:55	10:40~10:55
4	11:00~11:40	11:00~11:40	11:00~11:40	11:00~11:40	11:00~11:40	11:00~11:40	11:00~11:40
5	11:45~12:25	11:45~12:25	11:45~12:25	11:45~12:25	11:45~12:25	11:45~12:25	11:45~12:25
給	12:25~13:10	12:25~13:10	12:25~13:10	12:25~13:10	12:25~13:10	12:25~13:10	12:25~13:10
昼	13:10~13:25	13:10~13:25	13:10~13:25	13:10~13:25	13:10~13:25	13:10~13:20	13:10~13:20
掃	13:30~13:40			13:30~13:40	13:30~13:40		
ス	13:45~14:10	13:30~13:55	13:30~13:45 読書(15分)	13:45~14:10	13:45~14:10	13:20~13:45	13:20~13:45
6	14:10~14:50		13:45~14:25	14:10~14:50	14:10~14:50	13:50~14:30	
下	15:00	14:05	1年 13:55 2~5年 14:35	15:00	15:00	14:40	

☆委員会クラブに参加しない学年は、給食後下校(13:35下校)

各学年の曜日別時数

	月	火	水	木	金
1年	5	5	5	5	5
2年	5	5	6	5	5
3年	6	5	6	5	6
4年	6	5	6	6	6
5年	6	5	6	6	6
6年	6	5	6	6	6